

山形県最上町 最上町体験旅行実践協議会

<http://mogami-kanko.info>

問合せ先

窓口名：最上町体験旅行実践協議会

住所：山形県最上町向町 584

TEL：0233-43-2233 FAX：0233-43-2319

E-mail：info@mogami-kanko.info

アクセス

最寄りの都市：仙台市

集合場所：最上町 前森高原もがみ農遊館

車の場合：90 分 鉄道の場合：120 分



受入概要

【受け入れ方針】改正教育基本法の新しい教育理念を踏まえ、以下の受け入れ方針で事業を展開していく。

1. 規範意識、公共の精神に基づき主体的に社会に関わろうとする態度を養う。
2. 生命及び自然を尊重する精神、環境の保全に寄与する態度を養う。
3. 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う。

【PR事項】

- ・コーディネーター：元小学校教員で、自然の家での体験活動指導経験を持つコーディネーターが、受け入れ全体を担当。
- ・体験プラン：小学校教科と関連づけた体験プログラムを準備。体験のプランは「3つの学びポイント」を明示。顧客の希望をヒアリングした上で独自の内容でコーディネート可能。
- ・ワンストップ窓口：受け入れから各種手配、精算まで、一括して協議会でとり行う。
- ・他協議会との連携：民泊受け入れは、受け入れ規模に応じて他町村と連携し宿泊の手配を行う。また温泉旅館やアースアカデミー大場満郎冒険学校を含む公的宿泊施設と連携し、学校のニーズに柔軟に対応していく。
- ・指導者の資質向上：アウトドアガイド研修会等を多数開催し、熟練者確保と人材育成に努めている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

山形県の東北部に位置し、秋田県湯沢市と宮城県鳴子温泉に隣接している農業と観光の町。北に神室連峰を始め、大部分が奥羽山脈に属する山岳地帯であるが、町域中央部はカルデラを形成する小国盆地が開け、最上川の支流にあたる小国川が流れる。

奥の細道ゆかりの「赤倉温泉」、義経伝説の残る「瀬見温泉」、スポーツ施設が充実した「大堀温泉」と、古い歴史を持ついで湯の里でもある。

山形県と宮城県をつなぐ国道 47 号線が横断し、仙台市や山形市から 2 時間程の交通環境にある。山形新幹線新庄駅より車で 30 分。

歴史・文化的な特色

- ・「封人の家」松尾芭蕉がおくのほそ道で二日間逗留した家。重要文化財
- ・「山刀伐峠」おくのほそ道最大の難所と記された峠。歴史の道。
- ・「富山馬頭観音」東北三大馬頭観音のひとつ。多数の文化財を展示。
- ・世界の冒険家である大場満郎氏の出身地。アースアカデミー大場満郎冒険学校を開設、農業や冒険体験を提供している。
- ・小国川に「ヤナ場」が数か所あり、落ちアユの季節には人でにぎわう。
- ・かつて小国郷と呼ばれた最上町には馬の 400 年の歴史があり、今もなお「馬作り」という小国駒育成の技術が伝えられている。

農林水産業の特色

- ・稲作を中心に畜産や園芸を組み合わせた複合経営が主流。
- ・中山間の冷涼な環境を活かしたアスパラガスの一大生産地。年間 210t の生産量を活かし、アスパラガスを練り込んだ緑の麺、プリン、アイスクリーム、ロールケーキ、石鹸等、関連製品も豊富。
- ・豊富な森林資源を活かし、バイオマス利用も進んでいる。
- ・肥育牛を中心に 4200 頭の牛がおり、東北有数の畜産頭数を誇る。
- ・ソバの生産面積は 220ha で東法田地区ではオーナー制も導入している。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	51	18	1
最大宿泊可能人数	191	1083	60
料金	5000-6000 円	6000-18000 円	2700-5500 円

おすすめ体験学習プログラム

乗馬体験（60分・動物・昆虫体験）

【期間】

通年

【内容】

最上町の歴史深く関わる馬のアクティビティ。生態からしつけの仕方、そして実際の乗馬までを体感するほか、義経、芭蕉、黒沢明・・・などのエピソードも聞くことができるプログラム。

アスパラガス収穫体験（120分・農業体験）

【期間】

5月～5月まで

7月～8月まで

【内容】

最上町の特産であり、東京の小学校の学校給食にも取り入れられているアスパラガスの収穫体験を行い、消費者としての知識を深める。

イワナ釣り体験（120分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

5月～5月まで

7月～8月まで

【内容】

渓谷の源流域にしか棲むことのできないイワナの生態を学び、イワナを釣り上げる感触を楽しむほか、イワナの内臓の取り方、焼き方を体験する。

小国川での刺し網体験（120分・漁業体験）

【期間】

8月～10月まで

【内容】

小国川流域で行われている「刺し網漁」を体験する。流れにカーテン状の網を仕掛け、下流から上流へみんなで協力して魚を網に追い込む。

松尾芭蕉・「封人の家」古民家体験（60分・ふるさと体験）

【期間】

4月～11月まで

【内容】

今から約300前に建てられた江戸時代の東北の民家で「静かな時間」を過ごし、俳句を作る。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	義経・芭蕉の里 アドベンチャープラン	実施時期	5月～11月まで
ねらい	団体生活、目標設定、豊かな自然環境、生活環境の中で長期の団体生活を行うことにより、農林漁業に携わる生産者と深い交流を持ち、生産者のこだわりや工夫、生きがいなどに直接触れる。同時に、地域の歴史にも触れ、日本の歴史と大きく関わりのもつこの地のくらしを味わう。また、団体生活を通して、個やグループでの目標設定を行い、適時「振り返り」を行うことで「体験学習」の効果を最大限上げていく。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	オリエンテーション	グループでの目標設定 乗馬体験1（コミュニケーション・しつけ）
	午後	民間宿泊施設	
	宿泊	農業体験	アスパラガス収穫体験 乗馬体験2（厩舎そうじ・引き馬練習）
2日目	午前	漁業体験	小国川での刺し網体験 生活振り返り作文
	午後	農林漁家民泊	宿泊形態：分宿、1軒当たりの宿泊規模：少人数
	宿泊	林業体験	最上木こり体験
3日目	午前	林業体験	最上木こり体験 木質バイオマス利用冷暖房施設利用
	午後	農林漁家民泊	
	宿泊	農業体験	放し飼い鶏 卵拾い体験 神室山系登山
4日目	午前	ふるさと体験	乗馬体験3（グループ乗馬） 松尾芭蕉「封人の家」古民家体験
	午後	民間宿泊施設	
	宿泊	最上「義経・芭蕉」体験・振り返り	羽前最上焼 ふれあい陶芸体験 生活振り返り作文
5日目	午前	移動	
	午後	オリエンテーション	グループでの目標設定 乗馬体験1（コミュニケーション・しつけ）

山形県白鷹町 白鷹ツーリズム推進協議会

<http://www.town.shirataka.lg.jp/>

問合せ先

窓口名：白鷹町
住所：山形県白鷹町大字荒砥甲8 3 3 番地
TEL：0238-85-2111 FAX：0238-85-2128
E-mail：sangyou@so.town.shirataka.yamagata.jp

アクセス

最寄りの都市：山形市（新幹線停車駅）
集合場所：白鷹町スキーセンター（白鷹町中山 スキー場グレンデ）
車の場合：40 分 鉄道の場合：110 分



受入概要

山形県白鷹町は東京から約300km北にある農村である。日本三急流の一つ「最上川」が町の中心部を南北に流れ、両岸に田園地帯が広がる盆地となっている。受け入れる地域では交流事業などを受け入れる機会がこれまでもすくないので不安もあるが、おもてなしの心で接していきます。受け入れ家庭の人柄は田舎らしく温厚そのものです。天空の村をアピールしていくなかで、人と人との交流を大切にしていきたいと思う。

県受け入れ協議会を窓口にして21年に3中学校、延べ150人を受け入れた。今後とも、地域協議会や白鷹ツーリズム推進協議会を通しながら、中学校やご家庭に安心いただけるよう、料理教室等を通した安全管理と、作業活動等での安全講習会、救急講習会などを通して、事前学習を重ねていく。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特徴

白鷹町は山形県の中央西部に位置し、総面積157.74平方キロ、町の中心部には母なる川最上川が流れて、その両岸に田園地帯が広がっている中山間地域である。交通環境としては山形市まで車で約30分余り、仙台市には約1時間40分程度、新潟市へは約2時間30分、福島市からは約2時間弱であり、丁度中間の位置にある。中山地区は白鷹山の麓にあり標高約450m、冬季の積雪は約1.5m、スキー場が設置されています。山頂付近では通年でパラグライダー体験なども行われている。

白鷹町では深山和紙や白鷹紬など無形文化財が今も息づいている。和紙の原料となる楮（こうぞ）や養蚕により繭を生産し、糸を紡いで織物製品まで一環作業のできる唯一の産地でもある。受入の拠点地区、中山地区は白鷹山の麓にある200戸余りの集落で白鷹山登山道には水芭蕉が自生するなど自然豊かで、冬季はスキー授業などを行える町営スキー場がある。また山口地区はなだらかな田園地帯で200戸余りの集落で羽黒神社などへの信仰も厚く、集落ごとに獅子舞があるなど大変文化的に豊かな土地である。

歴史・文化的な特徴

白鷹町は米沢を中心にして北端に位置しており、耕地面でも恵まれた土地ではありませんが、町内ごとに獅子舞が行われ、その形態も鮎貝八幡神社の七五三の舞と蛇頭の舞と大きく2つの系統があるなど、伝統文化が絶えることなく残っている。また、養蚕が盛んだった当時から、織物産業が大変発達し、糸を染める板締めという染色技法が県指定無形文化財になっている。また、400年を誇る深山和紙漉きも無形文化財として現存しているなど、ものづくりにおいて手作りの文化が残っている地域である。

農林水産業の特徴

白鷹町の農業の概要：町の基幹産業は農業で主な特産品は水稻、酪農、りんごなどとなっている。特徴的な点は、農産物の生産量は少ないものの、たくさんの品目の農産物生産を行っている点である。また、酪農における生乳生産量は山形県一位、ホップやたばこなどの特用作物生産もトップレベルにあるなど特色ある農業生産地である。養蚕については全国的にも数少なくなっており、白鷹町では2戸で養蚕が行われている。生糸を使った織物についても、昔は大変盛んであったことから、北限の紺と呼ばれる紬が有名になり、糸を染めるための技法が無形文化財になるなど、大変特徴的である。山の幸も豊富で四季を通じた山菜料理が地元農家レストランで楽しめる。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	25	3	1	1
最大宿泊可能人数	100	23	15	87
料金	3000-3800 円	6800 円～	6825 円～	6800 円～

おすすめ体験学習プログラム

白鷹山のぼりすっぺ体験（240分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

5月中旬～10月下旬まで

【内容】

山形盆地と置賜盆地の中間に位置する白鷹山、山頂にある虚空蔵には上杉鷹山公直筆額が奉納されている。高い山登りと途中での水芭蕉など自然に触れる機会を持つ。地元の方で案内をする。

花と野菜ばおがすぞ体験（120分・農業体験）

【期間】

5月中旬～10月下旬まで

【内容】

花や野菜について話を聞きながら、種を蒔いたり、草取りをする。（6月限定で、紅花の若芽を間引きし、おひたしで食べる）

さどあるいでかざりばつぐっぞ体験（120分・クラフト体験）

【期間】

10月中旬～11月下旬まで

【内容】

山里を散策しながら、まつぼっくりやすすき、紅葉などリース作りに役立ちそうなものを拾ってきて、リース作りを体験する。

山菜採つぞ体験（180分・食の体験）

【期間】

5月下旬～6月上旬まで

【内容】

わらびやうるい等自分で採って料理する。

採りたて野菜ばまるごどくろ体験（120分・食の体験）

【期間】

7月上旬～9月中旬まで

【内容】

畑を中心に収穫したばかりの野菜を使った料理を楽しむ。特に冷たい水に冷やしておいたきゅうりやトマト、スイカ、茹でたてのとうもろこしなどを味わう。

星みっぺ体験（90分・自然・環境体験）

【期間】

8月上旬～8月中旬まで

【内容】

夜、暗い夜道を歩く機会と星空を眺めながら天体観測を行う。（蛍狩りは検討中）

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	夏の里山体験	実施時期	6月上旬～8月中旬まで
ねらい	地域の自然に触れたり農林業体験をすることで、自然のすばらしさやさまざまなものを学ぶ意欲の向上を図り、農村生活を体験することで、人とのふれあいの魅力や他人と協力する大切さなど培う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	入村式	挨拶・自己紹介・情報交換 白鷹山のぼり 山頂にある虚空蔵尊には上杉鷹山公が額を奉納しているなど、歴史性豊かな山登りを行う。天候がよければパラグライダーが飛び立つ際に説明を受けられる。
	宿泊	公的宿泊施設（パレス松風）	団体生活の中、研修先の理解を深め規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	畑作・園芸体験	地元農家での畑作・園芸体験 農家の実情などを聞きながら体験する。
	午後	畑作・園芸体験	午前中から引き続き参加する。
	宿泊	農林漁家民宿、農林漁家民泊	夕食後、農村生活について聞く。
3日目	午前	農村生活体験	山菜取り体験（雨天の場合：笹巻き作り体験） あぜの草刈体験（雨天の場合：笹巻き作り体験）
	午後	農村生活体験	わらじ作り体験 夕食作り体験
	宿泊	農林漁家民宿、農林漁家民泊	受入農家の家族とお別れ会を兼ねた夕食
4日目	午前	餅つき体験 ちくうべ	餅つき・餅ちぎりの体験
	午後	宿泊体験活動のまとめ	班別に農泊での学習の成果のとりまとめを行う。 宿泊体験の感想文を書く。
	宿泊	公的宿泊施設（パレス松風）	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	お別れの式	関係者とのお別れの会
	午後		

山形県飯豊町 めざみの里グリーン・ツーリズム推進協議会

<http://www.town.iide.yamagata.jp>

問合せ先

窓口名：飯豊町産業振興課
住所：山形県飯豊町大字樺 2888
TEL: 0238-72-2111 (262) FAX: 0238-72-3827
E-mail: teduka364@town.iide.yamagata.jp

アクセス

最寄りの都市：米沢市（新幹線停車駅）
集合場所：中津川地区公民館（あぷれ）
車の場合：90 分 鉄道の場合：60 分



受入概要

飯豊町は東京から約 300 km 北にある標高約 300 m の山村である。NHK 大河ドラマ「天地人」の舞台になっており、日本三急流の一つ「最上川」の源流に位置します。受け入れるスタッフは、我が子と同じく温かい「心」で子ども達に対応する。そのような中下記の 3 つの方針を定めている。

1. 自然に興味を持ち、親しむ気持ちを持つ人
2. 自然と共生していることを理解し、感謝できる人
3. 自分の行動に責任を持ち、受入側と協調して活動できる人

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

飯豊町は山形県の南西部に位置し、福島県と新潟県に隣接している南北に細長い恐竜の上半身の形をした町である。町内には原生林に覆われた飯豊山を源とする、最上川の源流「白川」が流れ、岩魚や山女魚が生息している。また国道 113 号線が横断しており仙台市や新潟市からおおよそ 2 時間、福島市からは 1 時間半という交通環境にあり、中津川地区は標高約 400 m の中山間地域で冬期間は約 3 m の積雪があり、雪を利用したスノーモービル体験なども行われている。

飯豊町は、全国でも珍しい田園散居集落が広がっており、その見事な農村景観から、平成 5 年「第 1 回美しい日本の村景観コンテスト」で最高賞である農林水産大臣賞を受賞した。また、町内萩生地区には 7 ha の敷地に 150 品種 50 万本のゆりが咲き誇る東日本最大のゆり園がある。

また、受入の拠点地区、中津川には全国でも珍しい「鳴き砂」がある。洗浄することにより「キュッキュッ」、また密封した容器に水と一緒に入れることにより「ゲコゲコ」とガマガエルのような音を聞くことができる。

歴史・文化的な特色

イギリスの女性旅行家イザベラ・バードは 1878 年新潟県から本町を訪れたとき、そのあまりの景観のすばらしさに「東洋のアルカディア」と評したとの記録がある。現在もその自然は手付かずそのまま残されている。また夏には勇壮な荒獅子祭りが各地域で繰り広げられる。その他、当地区には「草木塔」がある。草木塔とは樹霊信仰のシンボルで、昔の生活の中で使っている山の木々に感謝をし、慈しむ思いが込められている。この塔は旧上杉藩領内に分布し、地域の文化遺産となっている。さらには、東北四大祭りの「花笠祭り」で使用する花笠のほとんどは当中津川地域で生産されている。

農林水産業の特色

1. 飯豊町の農業の概要：町の基幹産業は農業で主な特産品は水稻、肉用牛、アスパラガスである。町内には米生産部門で全国初の安全で持続的な農業のために J-GAP を取得した生産組織や、YM 菌で有機肥料を生産する飯豊町有機肥料センターがあり、安全で安心な有機農業を行っている。また、肉用牛では日本三大和牛である、米沢牛の約 40% が町内で生産されている。中津川地域では山の幸が豊富で四季を通じて山菜料理が楽しめ、6ヶ所のわらび園、特に極太ぜんまいは有名である。

2. 飯豊町の林業の概要：町の森林面積は 27,755 ha で総面積の 84% を占め、大径木の広葉樹であり、町内には木炭生産者が 11 名おり、木炭品評会で好成績を掲げている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	農林漁家以外の民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	10	10	2	4	1
最大宿泊可能人数	45	50	60	270	200
料金	2400-3200 円～	5600-8600 円	5500-7000 円	5800-15000 円	360-570 円

おすすめ体験学習プログラム

あぜの草刈り体験（120分・農業体験）

【期間】

7月上旬～8月上旬まで

【内容】

現在は機械で刈り取るが、昔は鎌で畦畔の草刈りをしてきた。鎌の使い方や高く売れる米、おいしい米を作るのに必要な大切な仕事の一つを体験。腰を曲げての作業がいかに大変かが理解できる。

農業体験（120分・野菜収穫体験）

【期間】

6月上旬～8月上旬まで

【内容】

春は山形特産品の薄皮丸なす、秋は里いも、大根などを収穫し郷土料理の体験。

笹巻き作り体験（120分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

自分で笹を採り、洗い、その笹を三角にしてもち米を詰め込み結び、2時間程度煮込む。笹巻きはこの地方の郷土料理で笹が6月頃から作られおやつがわりに食されるものである。日持ちすることが特徴でむずかしいかも知れないが自分で作ることでおいしさも増倍する。

草木塔めぐり体験（120分・自然・環境体験）

【期間】

5月下旬～10月下旬まで

【内容】

日本でも稀な樹霊信仰のシンボルとなっている「草木塔」は町内でも中津川だけにある。インストラクターが案内する。



あぜの草刈り体験

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	夏の里山体験	実施時期	6月上旬～8月上旬まで
ねらい	地域の自然に触れたり農林業体験をすることで、自然のすばらしさやさまざまなものを学ぶ意欲の向上と、農村生活を体験することで、人とのふれあいの魅力や他人と協力する大切さなど培う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	入村式	挨拶・自己紹介・情報交換 草木塔めぐり※草木塔とは山形県置賜地方特有の石碑で、日本でもまれな樹霊信仰のシンボルとなっている。
	宿泊	公的宿泊施設	団体生活の中、研修先の理解を深め規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	県営「源流の森」のプログラムに参加	源流の森でインストラクターによる森林教室やクラフト教室などに参加する。 ※「源流の森」とは山形県が運営する森林レクリエーション施設
	午後	午前と同じ及び農村生活体験	午前中から引き続き参加します。 受入農家の人と一緒に地域を周り、地域を知っていただく。
	宿泊	農林漁家民宿、農林漁家民泊	夕食後、農村生活について聞く。
3日目	午前	農村生活体験	山菜取り体験（雨天の場合：笹巻き作り体験） あぜの草刈り体験（雨天の場合：笹巻き作り体験）
	午後	農村生活体験	「かえるすな」作り体験 夕食作り体験
	宿泊	農林漁家民宿、農林漁家民泊	受入農家の家族とお別れ会を兼ねた夕食
4日目	午前	餅つき体験	餅つき・餅ちぎりの体験
	午後	宿泊体験活動のまとめ	班別に農泊での学習の成果のとりまとめを行う。 宿泊体験の感想文を書く。
	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	お別れの式	関係者とのお別れの会
	午後	学校まで移動	

福島県福島市 ふくしま農業体験交流推進協議会

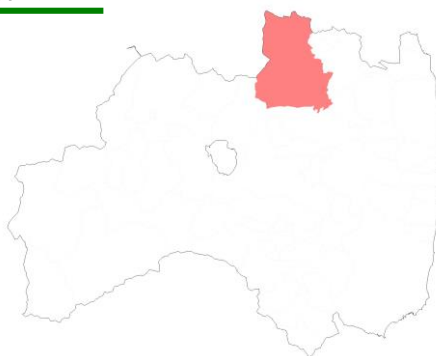
<http://www.iizaka.com>

問合せ先

窓口名：飯坂温泉観光協会
住所：福島県福島市飯坂町字十綱町 3 番地
TEL：024-542-4241 FAX：024-542-4753
E-mail：nfo@iizaka.com

アクセス

最寄りの都市：仙台市
集合場所：福島市役所飯坂支所駐車場
車の場合：90 分 鉄道の場合：90 分



受入概要

小学生の農業体験受入にあたり、農業体験を通じて

・農業の成り立ちについて・時代とともに農業産地の変遷・食の有り方について・農作物、植物の生理について・土壌の持つ不思議な世界について・地域に伝わる年間行事などを知ってもらいたい。

そのため、各農家での受入人数は 1 回につき最大でも 5 名までの少人数とし、きめ細かな農作業体験指導と心通うあたたかな対応を行いたい。

本地域は果樹栽培が盛んな地域であり、種類もさくらんぼ・桃・梨・りんご・ぶどう等と多岐にわたっている。受粉・摘果作業を行う際は時期も重複しているため、果物の違いをよりはっきりと比較体験することができる。

これまでも定期的に学校教育としての農業体験受入を行ってきている他、くだもの木オーナー制度を行ったり平成 18 年に行われた「都市との共生・対流を進めるための社会実験」にも参加したりするなどして、各農家の農業体験指導者としてのスキルも向上してきているが、今後さらに、新たに研修会を設け受入体制を強化していく予定である。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

福島市は東京から北に 270km、福島県北部に位置しており、東北新幹線及び JR 東北本線・山形新幹線の分岐点として、また東北自動車道、国道 4 号・13 号・114 号・115 号が東西南北にのびており、交通の便に恵まれた所である。

西は奥羽山脈に連なる吾妻連邦、東は丘陵状の阿武隈高地に囲まれた盆地となっており、南北に阿武隈川が流れている。盆地特有の内陸性気候と肥沃な土地を利用した落葉果樹の生産が盛んである。飯坂地区は福島市内の北部に位置し、福島駅とを結び飯坂電車の終着地となっている。四季折々の特徴が明確な自然豊かな地域である。春には様々な種類の果樹の花が果樹園一帯に一斉に咲きほこり、春の到来を体感できる。

福島市の特産である果樹は、6 月のサクランボの収穫に始まり、桃・梨・ぶどう・りんごと多品目の生産が行われている。奥羽山脈からの水に恵まれ、水稻の栽培も盛んである。

飯坂地区には、東北三大温泉の一つと言われる「飯坂温泉」があり、多くの共同浴場や足湯もあることから、市内外から多くの観光客が訪れている。

また、地区の中心には摺上川が流れており、鮎釣り地としてもよく知られている。上流には溪谷があり美しい風景が見られ、滑滝（なめたき）と呼ばれる滝では、夏になると子ども達が水遊びを楽しんでいる。

歴史・文化的な特色

農業用水路の整備調整等農業の基礎である水の確保が古くから整備されている地域である（西根堰・東根堰など）。果樹振興のため、先駆者たちのはたらきがあった。

10 月には五穀豊穡を神に感謝する「飯坂けんか祭り」が行われ、神輿と屋台とがぶつかりあう迫力ある姿が見られる。祭りで流れる太鼓の調べは 300 年の伝統を誇り、郷土の伝統文化として受け継がれている。

また、松尾芭蕉がつかったと言伝えが残る共同浴場「鱒湖湯」や源義経ゆかりの医王寺、大蛇伝説が残る茂庭など、昔話や伝承が色濃く残っている地域でもある。

農林水産業の特色

福島市の農業の概要：阿武隈高地と奥羽山脈に挟まれ、夏は暑く、冬は寒い内陸型気候により、北部・北西部では果樹栽培が、南部・西南部では水稻栽培が行なわれている。特に果樹栽培は福島市の農業生産額の約 6 割を占めており、その種類も、さくらんぼ・桃・梨・りんご・ぶどう・ブルーベリー等と多岐にわたっており、「フルーツ王国ふくしま」と言われる所以である。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	ホテル・旅館
軒数	30	50
最大宿泊可能人数	120	300
料金	600-4000 円～	5000 円～

おすすめ体験学習プログラム

果樹の栽培・管理作業体験（120分・農業体験）

【期間】

3月20日～4月25日まで

5月6日～5月30日まで

9月20日～10月31日まで

【内容】

果樹の栽培・管理作業体験

農産物加工体験（ジャム作り）（120分・食の体験）

【期間】

1月～4月まで

6月～12月まで

【内容】

ふくしま女性起業研究会会員の指導のもと、地元でとれた旬の農産物を使ってジャム作りを行う。



農のリースづくり

郷土料理作り（120分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

ふくしま女性起業研究会会員の指導のもと、福島に伝わる郷土料理づくりを体験する。

農のリースづくり（120分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

ふくしま女性起業研究会会員指導のもと、農作物を上手に利用したリースづくりを体験する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	ふくしま！まると体験プログラム	実施時期	-
ねらい	児童が、地域・世代・職種など異なる多種多様な人々とふれあい、仲間とともに非日常的な体験に挑戦することで、人を思いやり、適切な判断・行動ができるようになること。また、福島市の気候や自然、風土を体感し、農業発展との関連について理解を深めることで、自分達の住む地域について客観的に考えるきっかけとすること。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	入学式（地域に関する情報交換等）	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換 対面式：各農林漁家泊先との対面し、自己紹介をする。
	宿泊	農林漁家民泊	夕食づくり体験
2日目	午前	農林漁家においてりんごの摘果体験（班別活動）	各農林漁家泊先にて、りんごの摘果体験を行なう 果樹園内を散策し、動植物の生態観察、スケッチ。
	午後	西根堰農業用水路探検（全児童体験）	用水路の働き、作られた歴史などのお話を聞き、理解を深める。 地域の中で水路の広がりや仕組みを観察する。
	宿泊	民間宿泊施設	福島に伝わる昔話を聞く。
3日目	午前	稲刈り体験（全児童参加）	当該地域の稲作の解説と参加全児童で稲刈り体験を行う。効率的な作業方法を一度考えさせる。 田んぼ周辺の動植物の生態観察
	午後	森の自然体験（全児童参加）	力をあわせてのテント張り 森の案内人による木のお話と夕食作り
	宿泊	公的宿泊施設「茂庭キャンプ場」	星空観察と規則正しい生活。
4日目	午前	森の手紙づくり	キャンプ場の片付け・朝ごはん 落ち葉を使って家族や農家への手紙づくり
	午後	果物流通見学	共同選果場・直売所・農道空港（スカイパーク）などの流通関連施設を見学。 学習の成果の取りまとめを行う。
	宿泊	民間宿泊施設	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	郷土料理作り体験とお別れ会	福島に伝わる郷土料理の作り方や由来・伝承などを学ぶ。 児童が作った郷土料理を試食しながらの受入関係者さんとお別れ会
	午後	学校まで移動	

福島県喜多方市 喜多方市体験活動推進協議会

問合せ先

窓口名：喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター

住所：福島県喜多方市熊倉町熊倉字大竹 1364

TEL：0241-24-4488 FAX：0241-24-4489

E-mail：k-gtss@akina.ne.jp

アクセス

最寄りの都市：会津若松市

集合場所：押切川公園体育館

車の場合：40 分 鉄道の場合：30 分



受入概要

- 方針① 心とこころの交流：「心とこころの交流」の基本理念の下、きてよかった、きてもらってよかった、そして地域も元気になったという受け入れを目指している。
- 方針② 人材育成：喜多方市では、平成 17 年度にグリーン・ツーリズムエスコーターコース平成 18 年度にグリーン・ツーリズムインストラクターコースを本市で開講し、エスコーター33 名、インストラクター21 名が在籍し、受け入れの先導的な役割を果たしている。
- 方針③ 受入体制の整備：喜多方市のグリーン・ツーリズムが開始された平成 10 年以降毎年交流人口は増え続け、平成 19 年は 1 万を超えるに至っている。
- 方針④ 情報の継続的な発信：ホームページやパンフレットによる情報発信、首都圏でのグリーン・ツーリズムフェアへの出展や、教育旅行誘致キャラバンによる学校への誘客の掘り起こしを行い、新規校を開拓している。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

喜多方市は、福島県の北西部、会津盆地の北に位置し、北は山形県米沢市、同県西置賜郡飯豊町、東は耶麻郡北塩原村、西は耶麻郡西会津町、新潟県東蒲原郡阿賀町、南は会津若松市、河沼郡会津坂下町、同郡湯川村、耶麻郡磐梯町と接し、総面積 554.67 km²の広大な市域を有する。

喜多方市は、北西に、世界遺産の国内候補に挙げられた飯豊連峰の雄大な山並みが連なり、ブナの原生林に代表される自然がそのまま残り、東には名峰磐梯山の頂を望む雄国山麓が裾野を広げ、頂上部にはカルデラ湖雄国沼がニッコウキスゲなど高山植物の宝庫として大切に保全されている。日本一を誇る福寿草の大群生地、カタクリ、ひめさゆりの群生地など美しい里山がある。美しく原生的な自然に育まれた清流が喜多方を潤し、盆地特有の高温多湿な気候が良質米を産地づくり、水稻を中心とした農業が展開されている。水田は会津盆地一帯に広がっており、ホタルが飛び交う春、緑が一面に広がる夏、黄金色に輝く秋、真っ白な銀世界に包まれる冬と四季を通じて様々な表情を見せる。水稻以外にもそば、東北一の生産を誇るグリーンアスパラガス、夏秋トマト、夏秋きゅうり、花卉類、リンゴ・柿などの果樹、肥育牛など気候と風土に合った様々な農業が営まれている。

歴史・文化的な特色

喜多方市は「喜多方ラーメン」として全国的に知られているが、市内には 4 千を超える蔵があり、蔵のまちとしても知られている。蔵は、酒、味噌、しょうゆといった発酵技術や農作物の倉庫や蔵座敷としての利用等さまざまな蔵文化を見ることが出来る。その他にも、竹細工、漆、桐などの伝統工芸、1,000 万年前のカイギョウの化石、史跡や仏教文化、鉄道に関する近代遺産等数多くの文化的資源を有している。

仏都会津の一端を担う願成寺や 長大な規模と太柱の配列が特徴の建造物「新宮熊野神社長床」は、当時の荘厳な趣を今に伝え史跡や仏教文化を学ぶことができる。仏都会津の一端を担う願成寺や 長大な規模と太柱の配列が特徴の建造物「新宮熊野神社長床」は、当時の荘厳な趣を今に伝え史跡や仏教文化を学ぶことができる。

農林水産業の特色

盆地特有の高温多湿となるため、水稻栽培に適し、耕地面積のおよそ 8 割で米が作付けされている。水稻以外にもそば、東北一の生産を誇るグリーンアスパラガス、夏秋トマト、夏秋きゅうり、花卉類、リンゴ・柿などの果樹、肥育牛など気候と風土に合った様々な農業が営まれている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	25	40	16	2
最大宿泊可能人数	90	200	1000	90
料金	1050-7350 円～	5500-6000 円	5500 円	—

おすすめ体験学習プログラム

ふれあい農業体験（1日コース）（360分・農業体験）

【期間】

4月下旬～10月下旬まで

備考：雨天時でも、屋内の作業等天候に左右されずに受け入れ農家の作業に従事する。

【内容】

農山村のありのままの暮らしを農家とともにし、日々の農作業と一緒に学ぶ。採れたて野菜を味わったり、作物をつくることの大変さ、命の尊さを学ぶ。

森の案内人と行くネイチャーツアー（120分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

森の案内人と森林を散策する。整備された遊歩道を樹木観察をしながら歩き、きれいな空気を作る森林の生態系や役割等について学ぶ。



ふれあい農業体験

ボート（漕艇）体験（240分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

4月～11月まで

【内容】

1,000m、6コースのB級公認コースで、地元ローイングクラブの指導のもと、舵取り一人、漕ぎ手4人のナックルフォアに乗艇する。漕艇を体験する中で、力を一つに合わせてゴールへ向かう連帯感と、達成感を味わい、心豊かなひとづくりを図る。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	こころのふるさと作り	実施時期	4月～11月まで
ねらい	○宿泊体験や他の地域の人たちとの交流を通し、互いに助け合い相手を思いやる心を育み、他者との関わる力を伸ばす。○農業に携わる人々との関わりを通して、命の尊さ、食の大切さを学ぶ。○自分達が住んでいる地域との環境の違いや農村の理解を深める。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	街中散策・桐の博物館・開校式	自然や風土、産業の様子について資料などを活用しながら人々の生活や産業と密接な関連を持っていることを考える。 感じた事、想像したこと、見たこと、伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動。
	午後	農林漁家民宿	相手の立場を考え、時と場をわきまえて礼儀正しい心を育てる。
	宿泊	ふれあい農業体験	共同調理により、調理の基礎を学び、日本の伝統的な食事について造詣を深める。
2日目	午前	ふれあい農業体験	問題の解決や探求活動を他者と共同して問題を解決しようとする学習活動、自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動等を実施する。
	午後	農林漁家民宿	他の家族との触れ合い、団欒を楽しく工夫する。
	宿泊	ふれあい農業体験	勤労の尊さ、生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験を実施する。
3日目	午前	ふれあい農業体験	問題の解決や探求活動を他者と共同して問題を解決しようとする学習活動、自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動等を実施する
	午後	農林漁家民宿	自分の住んでいる地域との言葉の違いを理解し、必要に応じて話すこと。
	宿泊	ボート体験	運動に進んで取り組み、助け合って運動をしたり、安全に気を配ることができる。
4日目	午前	化石発掘体験	土地やその中に含まれる物を観察し、土地のつくりや土地のでき方を調べ、土地のつくりと変化についての考えをもつ。
	午後	農林漁家民宿	生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し節度を守ることを心がける。
	宿泊	閉校式	手紙を書くことを通じ、感じた事、考えたことを整理する。 農家への御礼をその場に合った適切な言葉遣いで話す。
5日目	午前	喜多方～学校	バス移動
	午後	・街中散策・桐の博物館・開校式	自然や風土、産業の様子について資料などを活用しながら人々の生活や産業と密接な関連を持っていることを考える。 感じた事、想像したこと、見たこと、伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動。

福島県只見町 只見町子ども農家体験協議会

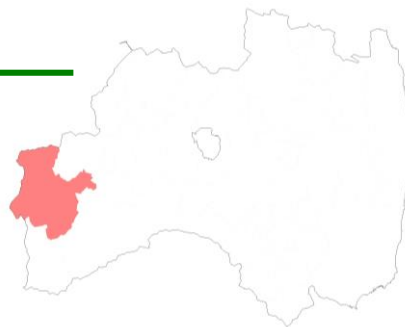
<http://www.tadami-net.com>

問合せ先

窓口名：只見町子ども農家体験協議会 事務局 一般
 社団法人 只見町観光まちづくり協会
 住所：福島県只見町大字只見字雨堤 1039
 TEL：0241-82-5250 FAX：0241-82-5810
 E-mail：meguro@tadami-net.com

アクセス

最寄りの都市：魚沼市
 集合場所：只見町役場駐車場・只見駅駐車場・地区センター駐車場
 車の場合：90分 鉄道の場合：80分



受入概要

ローカルホスピタリティ（地域のもてなし）を重要視している。

「気持ち」や「想い」といった接点や関わりを大切に、地域らしいおもてなしを追求している。また、「癒し」「和み」「学び」から感動体験へと導く。

只見町には、日本のふるさとの原風景がまだまだ残されている。清らかな水と豊かな自然とが一体になれるふるさと体験で生命の息吹にふれあえることができる。また、インストラクターが全員 只見の住民であり、只見の言葉（訛り）などを通じて、素朴な人の温かさを感じていただけると思う。食においても、只見産の米や野菜を使用した郷土食は、懐かしく美味しく召し上がっていただけることと思う。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特徴

東北地方福島県の西南端、新潟県との県境に位置している。
 町の面積は747.54km²で東京23区の1.2倍の広大な面積を有し、9割が山林によって占められている。標高370～540mにあり、1000m級の山々と、冬の多雪によって1年を通じて豊かな水が供給され 美しい溪流と川が流れている。
 町内を流れる主要な河川は「尾瀬」を源流とする「只見川」と、その支流の「伊南川」であり、その流域に集落と農地が集まっている。只見川流域は、JR只見線が並行しており、ローカル線として脚光を浴びている。

只見のブナ林は、規模や原始性において国内随一と言われている。町内にはブナや栗、山桜などの巨木も多く、また雪融けを待つ山野草が見事なまでに咲き揃う。山林は、ブナ・ミズナラ・トチノキなどの広葉樹林帯となっている。

只見川は水力発電地域として「田子倉ダム」「只見ダム」が建設され、広大な人造湖を造りだしている。「田子倉ダム」は貯水量5億tと国内屈指の規模を誇り、田子倉湖と周囲の山々の織りなすコンストラストは山紫水明の地として観光の拠点となっている。



黒谷川の清流

歴史・文化的な特徴

只見町塩沢は、河井継之助の終焉の地であり、河井継之助記念館がある。毎年、墓前祭が行われ広く町民から愛されている。

その他史跡として、国重要文化財指定の成法寺観音堂。旧叶津番所。珍しい出土品（土器・石器）が展示されている会津考古館。国の重文指定を受けた旧五十嵐家住宅。発電所・水のエネルギーを学ぶことができる只見展示館。川のものしり館などがある。

農林水産業の特徴

農林業は町の基幹産業であり、稲作のほか、トマト・リンゴの栽培が盛ん。また、町内3箇所のフラビ園では山菜を栽培しており、収穫体験等を実施している。このほか、田子倉湖、伊南川ではイワナやアユの養殖を行っている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	農林漁家以外の民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	38	12	24	8	1
最大宿泊可能人数	150	363	240	180	50
料金	1000-4500円～	4000-6500円～	6500-7500円	7500-13500円～	5500-7500円

おすすめ体験学習プログラム

ブナの森散策（180分・自然・環境体験）

【期間】

5月上旬～7月下旬まで

9月上旬～10月下旬まで

【内容】

ブナの森の沢の中をインストラクターと歩く。（くるぶし位まで）魚が泳ぎ、鳥がさえずる郷土の森として林野庁に指定された国内でもっとも面積の大きな郷土の森。

収穫体験（120分・農業体験）

【期間】

5月中旬～10月下旬まで

【内容】

その季節にあった野菜の収穫体験（なす・トマト・きゅうり・じゃがいも）。収穫した野菜は持ち帰る。季節によっては 田植え・稲刈り体験。

高齢者宅雪下ろしボランティア（90分・ふるさと体験）

【期間】

12月下旬～3月上旬まで

【内容】

高齢者宅の家の廻りを、スコップ、スノーダンプを使って除雪を行う

ワラビ収穫（120分・自然・環境体験）

【期間】

5月中旬～7月上旬まで

【内容】

雪が消えた山林から、良質なわらびが採れます。わらびはお持ち帰りできます。この地域は、只見川に並行して、只見線が走っており、素朴な田舎の生活を感じることができ。



森散策

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	田舎暮らしと自然満喫体験	実施時期	6月中旬～9月下旬まで
ねらい	児童が「日本の原風景」が残ると言われている、只見、奥会津の特色ある自然、農林業、文化風習を体感することによって「豊かな心」を育み、日本の美しさ「宝」を再確認し、これらを未来へ引き継ぐための課題、問題点を自ら探る。また異世代交流、集団生活からは年長者を敬う気持ち、互いをおもいやる心、また規律、状況に応じて自分で判断して行動できる力を養う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	青少年旅行村 入村式 森散策・テント張り・バーベキュー	只見町の班別テント張り・バーベキュー準備
	宿泊	公的宿泊施設 青少年旅行村	キャンプ体験
2日目	午前	カヌー	田子倉湖でアウトリガー付きカヌーを体験 ライフジャケット着用
	午後	川遊び・星空観察	魚つかみ・河原で魚焼き・飯ごうご飯炊き、川の生物について学習（川のものしり館見学） 青少年旅行村で星空観察 晴れの日、天の川も見る
	宿泊	公的宿泊施設 青少年旅行村	青少年旅行村内民家 2軒に分宿
3日目	午前	ブナ散策（恵みの森）	ブナ林に囲まれた沢の中を歩きます・ブナ林の役割を学ぶ 昼食は、森林の分校ふざわで郷土料理
	午後	ものづくり・星空観察（虫観賞）	班別 勾玉作り（考古館）つる細工（森林の分校ふざわ） 巣箱作り（青少年旅行村）
	宿泊	農林漁家民宿	只見昔話を聞く
4日目	午前	巨木との出会い・水力発電を学ぶ	旧若宮八幡神社の大栗の木と山桜を見学 Jパワー只見展示館で学んだ後は、田子倉発電所見学
	午後	収穫体験	もちつき 青少年旅行村 臼と杵でつく 農家で芋掘りなどの収穫体験（季節により異なる）
	宿泊	農林漁家民泊	1軒に3人～5人に分かれる 夕食を作る
5日目	午前	朝食前農作業 農家体験	その日の農家の農作業を行う・そば打ち体験
	午後	移動	お別れ会

福島県南会津町 南会津農村生活体験推進協議会

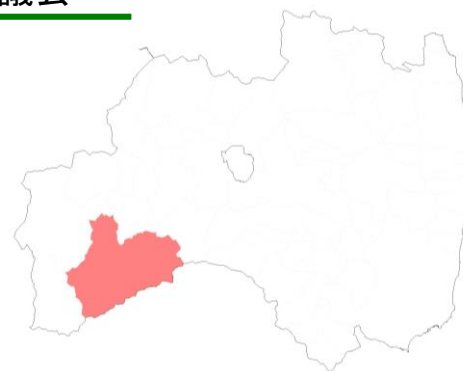
<http://www.minamiaizu.co.jp/>

問合せ先

窓口名：みなみやま観光（株）
住所：福島県南会津町田島字後原甲 3531-1
TEL：0241-62-6200 FAX：0241-62-1288
E-mail：h-yuda@minamiaizu.co.jp

アクセス

最寄りの都市：東京都（23区内）
集合場所：会津田島駅
車の場合：240分 鉄道の場合：187分



受入概要

当町では、小学生の受け入れに際して、「南会津町に来た子どもたちに、どんなことをしてあげられるか？」を一つのキーワードとして展開する。

今、全国の学校では、いじめや不登校など、子どもの健全な成長を妨げかねない深刻な問題がたくさんある。そうした状況の中、南会津町では、今の子どもたちに何をしてあげられるのか？また、何を与えられるのか？そして、どんな子どもに育てることができるのかを、全体的に考えていく。そして、当町の豊かな自然や伝統文化などに触れることにより、子どもの健全な成長につながるような体験活動を展開していく。

また、子どもが体験で訪れた時だけでなく、もし、数年後に何か悩みや困ったことがあったときには、いつでも南会津町に帰ってきて、心を洗い流すことのできる「第2のふるさと」となれるような環境づくりに取り組んでいく。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

本町は、平成18年3月に1町3村が合併して新しく誕生した、人口約1万9800人の町である。福島県の南西部に位置し、南は栃木県那須塩原市及び日光市に接して、東西43km、南北38km、総面積886.52km²で、県内では、2番目に広大な面積を有している。

気候は、夏は朝夕しのぎやすい大陸型、冬は厳しい日本海型に属し、冬期間は2メートルを超える積雪となる地域もあります。周囲は四方を山で囲まれた山岳地帯であり、総面積の91%が森林で占められている地域である。

昨年に単独国立公園化された「尾瀬国立公園」の区域に指定されている田代山や帝釈山、ミズバショウやニッコウキスゲなどの高山植物が咲き誇る天然記念物に指定されている「駒止湿原」など、数々の美しい自然資源に恵まれた地域であることから、小学生の環境学習にも最適な地域といえる。

また、イワナやヤマメが数多く生息する渓谷や清流、冬期間の雪を利用したスキーやかまくらづくり、雪かき体験、また、豊かな四季から収穫される良質な野菜、そばなどの農産物など、美しい自然環境と農村景観に恵まれ、大自然がもたらす幸が町民の心を潤す財産となっている。



尾瀬国立公園

歴史・文化的な特色

本町の古い歴史と風土から、国指定重要有形文化財に指定されている「大桃の舞台」や800余年の伝統を誇り、日本の三大祇園祭の一つである「田島祇園祭」、その他、久川城跡や嶋山城跡などの史跡を含め、102の指定文化財と161カ所の埋蔵文化財包蔵地などが分布しており、数々の文化的資源に恵まれた地域である。

また、赤かぶや栃餅、裁ちそばなどの郷土料理、湯ノ花神楽や水引十人芸などの郷土芸能など、多様な文化資源が存在している。

農林水産業の特色

1. 南会津郡南会津町の農業の概要：水稻やそばの生産を中心に、アスパラガス、南郷トマト、赤かぶ等の生産が盛んでリンドウなどの花卉栽培にも力をいれている。

2. 南会津郡南会津町の林業の概要：町の総面積の90%が山林で占められており、福島県の森林環境税からの交付金により、森林の手入れを主体とした里山再生事業に取り組み、魅力ある農山村づくりを進めている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家以外の民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	174	74	23	1
最大宿泊可能人数	—	—	—	—
料金	6300-7350円	—	—	—

おすすめ体験学習プログラム

尾瀬ハイキング（480分・自然・環境体験）

【期間】

5月下旬 ～ 10月中旬まで

【内容】

国立公園に指定されている、日本有数の湿原・森・動物と様々な自然を通じて、環境問題について学ぶ。

林業きこり修行（120分・林業体験）

【期間】

6月中旬 ～ 10月中旬まで

【内容】

節目の少ない美しい木材の育て方、枝打ちの必要性を学ぶ。



尾瀬ハイキング

魚のつかみ取り体験（120分・自然・環境体験）

【期間】

6月下旬 ～ 8月下旬まで

【内容】

自然の中で水の中に入り、清流にしか棲まない岩魚を捕まえ、塩焼きにして試食する。

スノーシュー体験（180分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

1月上旬 ～ 4月上旬まで

【内容】

白銀の世界でスノーシューを履いて散策する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	-	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	南会津農村生活体験プログラム	実施時期	5月中旬 ～ 10月中旬まで
ねらい	児童が、南会津地域の特色ある自然・農林業を体感し、チャレンジするとともに、農家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。お世話になった方々への感謝の気持ち“ありがとう”の心を育てていただく。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	入村式（地域に関する情報交換等）	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換（事前学習に基づく、児童からの質問に答える。） 環境学習・自然観察ハイキング
	宿泊	ホテル・旅館等に合同宿泊	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	班別選択体験学習	木工所や工房、資料館の見学を行い、わら細工、つる細工、染め物、陶芸、木工など事前に選択しものづくりをおこなう。
	午後	農村生活体験・農作業	対面式：各農家宿泊先との対面し、自己紹介をする。 各農家宿泊先に任せて、農村の生活を体験する。
	宿泊	農家民宿・農家民泊	夕食後、午後の生活体験の感想を語り合う
3日目	午前	田植え体験（全児童参加）	当該地域の稲作の解説と参加全児童で田植え体験を行う（天候不良の場合、屋内メニューを提供） 田んぼ周辺の動植物の生態観察（天候不良の場合、屋内メニューを提供）
	午後	農村生活体験・農作業	夕食の食材の調達（天候不良の場合、屋内メニューを提供） 農家の方との夕食づくり体験
	宿泊	農家民宿・農家民泊	農家のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食
4日目	午前	農家とお別れ	朝食・片付け・清掃活動・農家への御礼の方法の検討 農家とお別れ会
	午後	宿泊体験活動のまとめ（地域関係者のサポート付き）	班別に、農家泊での学習の成果の取りまとめを行う。 保護者宛の宿泊体験の感想を手紙にする。
	宿泊	ホテル・旅館等に合同宿泊	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	片付けとお別れ会	片付け・清掃活動 児童による受入関係者に向けたお別れ会（演奏会）
	午後	学校まで移動	